



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

東

上場会社名 アマテイ株式会社

上場取引所

コード番号 5952

URL <http://www.amatei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋元 直行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 石野 栄一

(TEL) 06-6411-1236

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	2,520	△0.2	△12	—	1	△86.0	46	285.3
26年3月期第2四半期	2,525	4.1	24	168.0	12	31.2	12	93.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 83百万円(108.3%) 26年3月期第2四半期 40百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	3.80	—
26年3月期第2四半期	0.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,303	949	17.3
26年3月期	4,845	865	17.2

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 914百万円 26年3月期 834百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△2.8	27	△55.1	32	△9.1	70	175.9	5.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	12,317,000株	26年3月期	12,317,000株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	48,078株	26年3月期	47,478株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	12,269,122株	26年3月期2Q	12,269,814株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税前の駆け込み需要の反動により、個人消費が低迷し、住宅建設も減少しているものの、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に緩やかな回復の動きがみられました。しかしながら、中国をはじめとした新興国や欧州経済の減速やウクライナ情勢が懸念され、また、円安による原材料やエネルギーコストの上昇等、景気の先行きには引き続き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなか、当社グループの主たる事業である建設・梱包向事業のうち建設業界向は、第2四半期における新設住宅着工戸数が441千戸(前年同四半期比11.6%減)と平成26年3月以降前年度割れとなっており、消費増税の反動や天候も影響して、釘の需要は減少しました。また、梱包業界向の需要は、依然弱含みで推移しました。

一方、電気・輸送機器向事業は、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトは、円安基調を受けその動きは止まり、特に、弱電・OA関係に引き続き、平成24年から海外移転が急激に進んでいた自動車向けもその動きは沈静化しており、ネジの需要は、底打ち観から脱し、徐々に増加の傾向となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,520百万円と前年同四半期と比べ5百万円(0.2%減)の減収となりました。営業損益は、建設・梱包向が、輸入品価格の上昇や製造コストの増により、12百万円(前年同四半期24百万円の利益)の営業損失となりました。経常利益は、1百万円(前年同四半期12百万円の利益)となり、四半期純利益は、事務所棟及びその敷地の売却による固定資産売却益69百万円、事務所機能を工場内に移設したことに伴う等固定資産除却損19百万円を計上したこと等により、46百万円(前年同四半期比34百万円増)となりました。

当四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (建設・梱包向)

建設・梱包向セグメントは、消費増税前の駆け込みの反動により、釘の需要は減少し、輸入商品価格の高止まりや電力料等の製造コストの上昇分を販売価格に十分に転嫁できなかったことにより、収益は悪化しました。このような結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比3.0%減の1,949百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ40百万円減少し、69百万円となりました。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向セグメントは、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトの動きは止まり、海外移転が進んだ自動車向けもその動きは沈静化したため、需要は回復傾向にありますが、電力料・外注加工費等の製造コストが増加した結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比10.8%増の570百万円となり、セグメント利益は前年同四半期に比べ1百万円増加し、9百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は5,303百万円(前連結会計年度末〔以下「前年度末」という〕比458百万円増)となりました。流動資産は、前年度末に比べ205百万円増加し3,000百万円となりました。これは主に現金及び預金が180百万円、商品及び製品が95百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が76百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は、前年度末に比べ253百万円増加し2,303百万円となりました。これは有形・無形固定資産の設備投資額が240百万円に対して減価償却費が70百万円であり、投資有価証券が第2四半期連結会計期間末の株価の上昇により、31百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前年度末に比べ374百万円増加し4,354百万円となりました。流動負債は、前年度末に比べ138百万円増加し2,945百万円となりました。これは、その他で建設・梱包向での工場事務所等の改修工事により、設備関係未払金が前年度末に比べ59百万円増加し、短期借入金が40百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前年度末に比べ235百万円増加し、これは、長期借入金が前年度末に比べ229百万円増加したこと等によるものであります。

有利子負債(短期借入金、長期借入金)は2,918百万円(前年度末比270百万円増)となりました。これは、長期借入金の返済384百万円に対して、電気・輸送機器向で多段冷間圧造設備資金として205百万円を調達したこと等を含めて、長期借入金を665百万円借入れたこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、949百万円となり、前年度末に比べ83百万円増加しました。これは、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益が46百万円となったことと、保有株式の時価が上昇し、その他有価証券評価差額金が、前年度末13百万円であったものが33百万円となったこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前年度末の17.2%から17.3%となり、1株当たり純資産は68.02円から74.58円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月8日に発表した平成27年3月期の第2四半期(累計)連結業績予想は、平成26年11月4日に修正いたしました。また、通期連結業績予想も、建設・梱包向において消費増税の反動による影響はなくなるものの、円安による輸入商品の購入価格の高止まりは続き、販売価格への転嫁が十分に進まない状況であるため、収益面で営業利益、経常利益を下方修正いたしました。なお、業績に影響を与える事象が発生しましたら、適宜お知らせいたします。

第3四半期連結会計期間以降のセグメント毎の業績見通しは、次の通りであります。

## (建設・梱包向)

新設住宅着工は、平成26年3月以降、前年割れの状況が続いており、第2四半期連結累計期間中は消費増税による駆け込み需要の反動が残りしました。主たる需要先である住宅の新設着工戸数は、平成26年4-9月累計で441千戸、前年同期比11.6%減となり、平成26年の新設住宅着工戸数の見込みも880千戸と下方の見込みではありますが、第3四半期以降の需要は、例年並まで持ち直してくると思われれます。しかしながら、電気料金の一昨年からの値上がりに加え物流コストの上昇、円安による輸入商品の仕入コストの増加も懸念されるため、販売価格の値上げが最大の課題であると認識しております。今後とも、販売価格の改善と輸入商品の仕入コストの低減、当社特許品である「木割れ最強釘」及び輸入商品等の拡販を図ってまいります。

## (電気・輸送機器向)

電気・輸送機器向事業は、前述のとおり、需要家の現地調達化及び輸入品へのシフトは、円安基調を受けその動きは止まっております。東北での自動車関連の事業の動きとして、自動車メーカーや一次部品メーカーが、部品調達にあたり、平成27年モデル(平成26年立ち上げ)への地場サプライヤーの起用を幅広く進めており、今後の需要の取り込みが期待できる状況であります。また、新たに導入した多段冷間圧造設備による高付加価値製品の販売が加わることにより、今後の増収を見込んでおります。

以上のことにより、当連結会計年度(平成27年3月期)の通期業績見通しにつきましては、連結売上高5,200百万円、連結営業利益27百万円、連結経常利益32百万円、連結当期純利益70百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	447,563	627,608
受取手形及び売掛金	1,402,753	1,326,000
商品及び製品	553,537	649,241
仕掛品	179,725	202,892
原材料及び貯蔵品	189,028	177,625
繰延税金資産	9,455	8,505
その他	17,206	12,146
貸倒引当金	△4,273	△3,793
流動資産合計	2,794,996	3,000,226
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	552,744	581,528
機械装置及び運搬具(純額)	448,679	514,492
土地	793,421	791,715
その他(純額)	61,217	168,463
有形固定資産合計	1,856,062	2,056,199
無形固定資産		
ソフトウェア	17,882	27,579
その他	12,894	11,228
無形固定資産合計	30,777	38,808
投資その他の資産		
投資有価証券	119,526	150,881
その他	67,317	80,954
貸倒引当金	△23,389	△23,225
投資その他の資産合計	163,455	208,610
固定資産合計	2,050,294	2,303,618
資産合計	4,845,290	5,303,845

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	905,375	923,612
短期借入金	1,685,857	1,726,850
未払法人税等	1,521	5,327
賞与引当金	28,836	27,824
その他	185,086	261,970
流動負債合計	2,806,676	2,945,585
固定負債		
長期借入金	962,773	1,191,910
繰延税金負債	7,379	18,538
役員退職慰労引当金	19,967	14,612
退職給付に係る負債	180,015	179,989
資産除去債務	2,562	3,433
固定負債合計	1,172,697	1,408,483
負債合計	3,979,374	4,354,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	615,216	615,216
資本剰余金	40,181	40,181
利益剰余金	195,928	242,561
自己株式	△2,923	△2,972
株主資本合計	848,402	894,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,354	33,550
退職給付に係る調整累計額	△27,134	△13,567
その他の包括利益累計額合計	△13,780	19,982
少数株主持分	31,293	34,806
純資産合計	865,916	949,776
負債純資産合計	4,845,290	5,303,845



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,525,026	2,520,005
売上原価	2,088,200	2,119,685
売上総利益	436,825	400,320
販売費及び一般管理費	411,884	412,860
営業利益又は営業損失(△)	24,940	△12,539
営業外収益		
受取利息	50	17
受取配当金	495	2,593
受取賃貸料	6,922	9,452
助成金収入	-	16,644
その他	3,433	6,750
営業外収益合計	10,901	35,458
営業外費用		
支払利息	18,958	16,866
その他	3,955	4,240
営業外費用合計	22,914	21,107
経常利益	12,927	1,810
特別利益		
固定資産売却益	-	69,725
特別利益合計	-	69,725
特別損失		
固定資産除却損	27	19,843
特別損失合計	27	19,843
税金等調整前四半期純利益	12,899	51,693
法人税、住民税及び事業税	1,503	3,591
法人税等調整額	△1,181	△2,044
法人税等合計	321	1,546
少数株主損益調整前四半期純利益	12,578	50,146
少数株主利益	475	3,512
四半期純利益	12,102	46,633

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,578	50,146
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,705	20,195
退職給付に係る調整額	-	13,567
その他の包括利益合計	27,705	33,762
四半期包括利益	40,283	83,909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,807	80,396
少数株主に係る四半期包括利益	475	3,512

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,899	51,693
減価償却費	72,681	69,218
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△390	△643
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,435	△1,012
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,095	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	13,541
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,794	3,907
受取利息及び受取配当金	△545	△2,611
支払利息	18,958	16,866
固定資産除却損	27	19,843
固定資産売却損益(△は益)	-	△69,725
売上債権の増減額(△は増加)	45,307	76,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	△35,899	△107,468
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,968	18,237
その他	△4,115	△12,428
小計	15,410	76,170
利息及び配当金の受取額	545	2,611
利息の支払額	△19,041	△17,044
役員退職慰労金の支払額	△12,825	△9,262
法人税等の支払額	△9,416	△1,892
営業活動によるキャッシュ・フロー	△25,326	50,581
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△42,168	△225,574
有形固定資産の売却による収入	-	113,960
有形固定資産の除却による支出	-	△1,513
無形固定資産の取得による支出	△1,142	△16,308
その他	△6,972	△11,181
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50,283	△140,618
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	230,000	276,000
短期借入金の返済による支出	△207,120	△286,830
長期借入れによる収入	270,000	665,000
長期借入金の返済による支出	△248,510	△384,040
自己株式の取得による支出	△24	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	44,345	270,081
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△31,265	180,044
現金及び現金同等物の期首残高	585,559	447,563
現金及び現金同等物の四半期末残高	554,294	627,608

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,009,646	515,379	2,525,026	—	2,525,026
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	2,056	2,075	△2,075	—
計	2,009,665	517,435	2,527,101	△2,075	2,525,026
セグメント利益	109,809	7,774	117,584	△92,643	24,940

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,584
セグメント間取引消去	△61
全社費用(注)	△92,581
四半期連結損益計算書の営業利益	24,940

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	建設・梱包向	電気・ 輸送機器向	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,949,202	570,802	2,520,005	—	2,520,005
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	3,084	3,103	△3,103	—
計	1,949,221	573,886	2,523,108	△3,103	2,520,005
セグメント利益又は損失(△)	69,588	9,588	79,176	△91,716	△12,539

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	79,176
セグメント間取引消去	△53
全社費用(注)	△91,662
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△12,539

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績及び仕入実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,707,635	△0.2
電気・輸送機器向	511,721	+16.8
合計	2,219,356	+3.3

(注) 1 金額は、生産実績は製造原価、仕入実績は仕入価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,918,937	△4.2	346,826	+5.9
電気・輸送機器向	569,043	+6.9	95,494	△3.0
合計	2,487,981	△1.9	442,321	+3.8

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメント	販売高(千円)	前年同期比(%)
建設・梱包向	1,949,202	△3.0
電気・輸送機器向	570,802	+10.8
合計	2,520,005	△0.2

(注) 1 金額は、販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しています。

2 当第1四半期連結累計期間における主な相手先別の販売実績および当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
大東スチール株式会社	477,537	18.9	509,520	20.2

3 上記の金額には、消費税等は含まれていません。